

会議名		第2回学校運営協議会 議事録	
場所	大阪府立すながわ高等支援学校4階校長室		
日時	平成30年11月30日(金) 10:00~12:00		
目的	学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、府教育委員会の附属機関である。		
次第	(1) 校長挨拶 (2) 学校の様子について(授業見学) (3) 協議「学校経営計画の進捗状況について」 (4) 報告 平成30年度授業アンケート集計結果 平成30年度学校教育自己診断について 平成31年度教科書選定について (5) 意見交換・まとめ (6) 校長挨拶		
出席者	会長 府立東淀川支援学校 授業改善アドバイザー オートボックス株式会社カネシン 管理部長 泉州中障害者就業・生活支援センター センター長 欠 株式会社サクセス 自立支援推進室長 すながわ高等支援学校PTA会長 泉南市商工会 事務局長 すながわ高等支援学校事務局	山内 國嗣様 辻 昭宏 様 後藤 智子様 河本 妙子様 藤野 睦子様 城野 雅之様	
会議内容			
要約	平成30年度学校経営計画に沿って、滞りなく計画が進捗していること及び協議テーマについて、各立場から実りのある意見交換がなされた。		
協議テーマ及び報告について質問・ご意見			
	① 働き方改革を進めていくなかで、企業では、経過報告を省きICT機器を有効活用している事例が報告された。 ② 観察・分析の徹底からアプローチは最小限にするという就労支援の根幹をヒントに、学校業務の効率化が必要であることが確認された。 ③ 教員個々の気持ち、ひとつの目標(生徒の就労・定着)に向かって動くことが効率化のポイントであることが言及された。 ④ 「報・連・相」の「報・連」については、ICT機器の活用により効率化が可能。「相=相談」にたっぷり時間をかけることの方が、重要であることを共有した。 ⑤ 授業アンケートは生徒の無記名にする提案がなされた。		
次回検討事項	学校教育自己診断について精査		
次回開催日	平成31年2月1日(金) 予定		
作成者	大阪府立すながわ高等支援学校	首席	田中文隆 (12月6日作成)